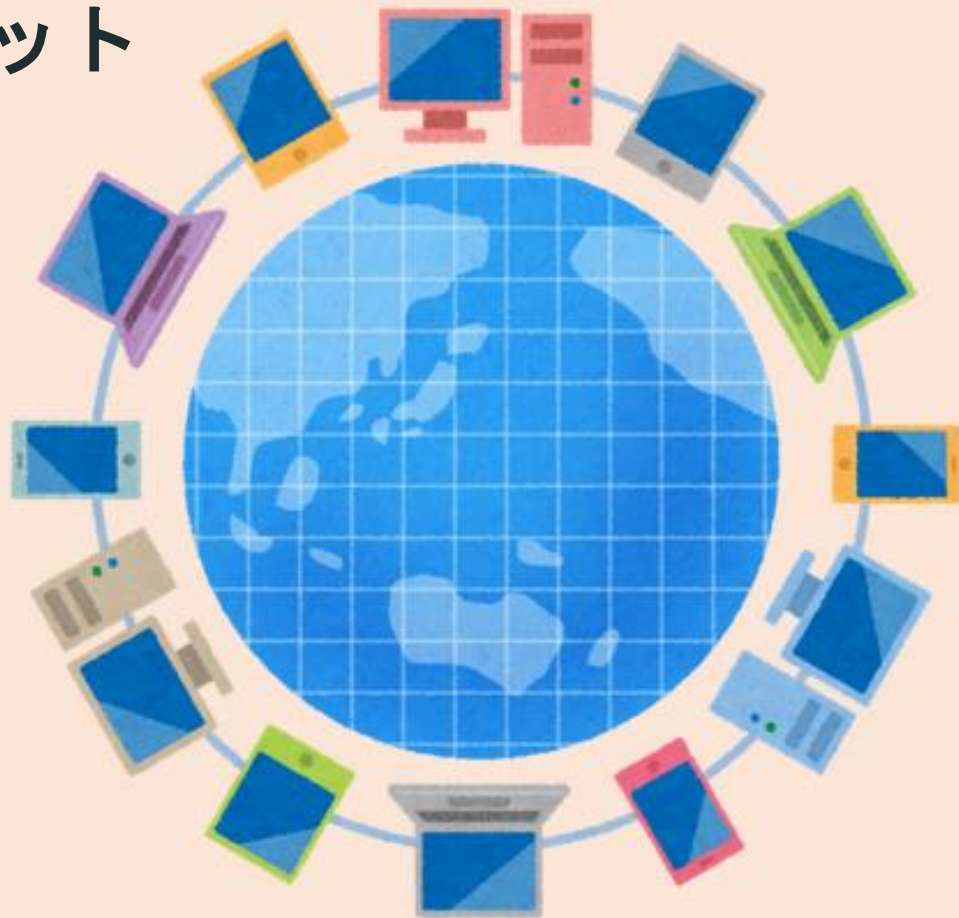




サイバー空間の情報は
どのように守られてい
るだろうか？

—

インターネット



情報セキュリティの3要素

- 機密性

許可された人だけ情報を扱う

手紙や日記の内容を他人に勝手に読まれないようにする

- 完全性

情報を勝手に変えられない

ノートに落書きをしたり、ページを破ったりすると、ノートの内容が変わる

- 可用性

必要な時にいつでも使える

学校の図書館がいつでも開いていて本を借りられる

この3要素のバランスが大切！

情報セキュリティ技術を活用して、
自分たちの情報をまもろう

機密性に偏りすぎると：

「機密性」を優先しすぎるあまり、アクセス制限が多くなりすぎて、必要な人が情報にアクセスできない問題が発生します。これにより、可用性が低下し、業務が滞る可能性があります。

可用性を優先しすぎると：

「可用性」を重視しすぎると、セキュリティ対策が緩くなり、誰でも簡単にアクセスできる状態になることがあります。これにより、機密性と完全性が脅かされます。

完全性に偏りすぎると：

「完全性」を確保するために過度なチェックや制御を導入しすぎると、可用性が低下し、システムの利用が難しくなることがあります。

個人認証

機密性を高める技術例：個人認証

パスワード突破ゲームで
情報を盗んでみよう

ログインが必要です。

ユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名：

user

パスワード：

●●●●●●●●

OK

キャンセル

パスワードはどのように設定すればよいだろう？

- ・ 誕生日や名前など個人の情報をつかわない
- ・ 「１２３４」など分かりやすいものにしない
- ・ 大文字や小文字、記号などを混ぜる
- ・ 短くしすぎず、覚えられるものにする